

環境と産業

担当教員	辻 義人
対象	学部1～4年生
科目群	教養基礎科目群

授業概要

これまでの産業場面において、「環境」という用語は、公害や自然破壊など、負の側面に注目されることが多かった。現在では、環境経営は、企業の社会的責任（CSR: Corporate Social Responsibility）として位置づけられている。また、この活動の背景となる概念として、「SDGs（持続可能な開発目標）: Sustainable Development Goals」に対する注目が高まっている。本講義では、環境問題から環境経営への変容に至る経緯を学ぶ。これにより、これまでの経済活動を踏まえ、21世紀に求められる環境経営のあり方について理解を深める。それに際して、特にIT分野における取り組み（グリーンIT、スマートシティ構想）に注目する。また、現時点での社会情勢は、きわめて流動的である。特に、私たちに関連するテーマをとりあげ、できる限り新しいニュースや時事問題等について紹介する。

キーワード

サステナビリティ、SDGs、環境経営、グリーンIT、エネルギー問題

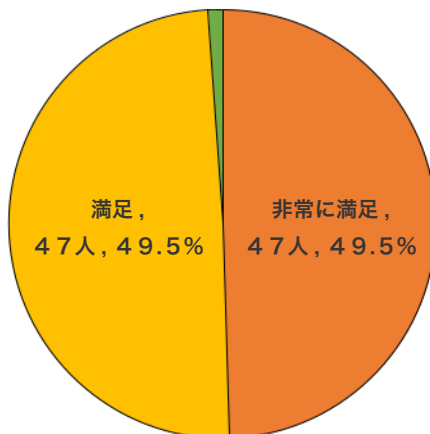
到達目標

- ・日本または世界における環境問題を理解する。
- ・21世紀における環境経営の基礎的概念として、CSR（企業の社会的責任）、また、SDGsに関わる企業活動を理解する。
- ・持続可能性（サステナビリティ）を重視した経済活動の理念と実際について理解する。

授業フィードバックアンケート結果

授業満足度

非常に満足	47人	49.5%
満足	47人	49.5%
やや満足	1人	1.0%
不満	0人	0.0%



やや満足, 1人, 1.0%
不満, 0人, 0.0%

授業フィードバックアンケート結果

来年度以降も続けてほしいこと（抜粋）

- 企業の特別講義や、企業が何に取り組みどのような政策を行っているのか調べる活動。
- ここ最近、自分でニュースを見たりなどする機会が減っている。そのため、最近の出来事を講義の最初に解説してくれるパートがあることがよかった。
- 日本だけでなく、世界の「環境と産業」を取り上げていた。そのため、自分の生活にかかわる重要な情報収集を、続けていきたいと思えるようになった。
- 授業の途中で課題をいれるのが良いと感じた。話をただ聞くだけでは身につかないので続けると良いと感じた。
- 出席確認を兼ねた授業中課題の仕組みがよかった。なぜなら、内容の理解の促進に寄与し、その場に出席していないと回答できないような内容であり公平だと思うから。

履修者から後輩へのアドバイス（抜粋）

- この講義を受講することで、世界の動向や国の動向、現在進んでいる地球温暖化のことなど、幅広く情報を得ることができると思う。
- 講義内容について、自分で興味を持ったことを調べたりするとすごく楽しいです！
- この授業では、四大公害、環境経営や環境経済を学ぶことができます。特に、先生のお話がとてもわかりやすかったです（実際の環境問題に触れたり、どんな事業がされているかを具体的に説明したり）。
- 大学生として、知っておいたほうがいい国際的なニュースを知ることができます。特に、普段テレビやニュースなどを見ない人にとって、面白く受けられると思います。
- 中間テストや期末テストは、意外と素直な問題でした。きちんと授業を聞いて勉強していれば、テストは心配ないはずですよ。

担当教員インタビュー

Q この授業を設計・実施する際のポイントを教えてください。

A この授業の開講と実施に際して、教員としても、事前に調べることや更新されたことを確認する必要があります。シラバスに記載されているとおり、環境活動や産業活動は、国内外の影響を強く受けるため、世界に目を向けたうえで、国内の状況に注目する必要があります。この授業を設計・準備するうえで、環境と産業に関する多くのテーマについて、多様な変化が起きていることを実感します。授業では、できる限り新しく確実な情報に絞って、問題となっているポイント、誰が何を意図して解決に動いているのか、紹介していきます。この授業の特徴として、リアルタイム性が非常に高いことがあると考えています。

Q この授業で特に気をつけているところは何ですか？

A この授業で、もっとも気をつけていることとして、自由な考え方を持つために、できるだけ中立で公平な意見を紹介することが挙げられます。環境問題や経済活動をはじめ、世界には一方的に正しいことや、誤っていることは、ほとんどありません。どちらの立場にも、背景となる考え方があります。この授業では、「〇〇は正しい」や「××は間違い」のように、教員が断定することはありません。受講者が、どのような立場で、どのような考え方を持つことも自由になるように、公平性に注意しています。

Q この授業を担当していておもしろいところ、楽しいところを教えてください。

A 本科目の特徴として、実際に電力事業に携わっている方を講師としてお招きし、ゲーム形式での講義を行っていただいている点が挙げられます。これは、教員としても、貴重な学習の機会となります。また、素朴な疑問に回答していただくことができ、私自身の学びや、視野の広がりにつながっている点について、とても面白く思います。もちろん、ゲームとしても、受講者から高く評価されています。